令和4年度

（2022）

社会福祉法人　やすらぎ会

事業報告書

**令和4年度　総括**

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のなか、3つの基本方針に基づく事業運営をはかったが、令和4年度は、法人内事業所における新型コロナウイルス感染症クラスター対応に追われた年度であった。3つの基本方針に関して、安定した法人運営では、経営基盤の安定と組織力強化をはかるため法人中長期計画を策定し、法人内各事業についてPDCAサイクルに基づく各推進項目の明確化やWAM活用した特養の経営診断の実施、感染症業務継続計画（BCP）の整備、職員満足度調査結果の課題抽出などをはかった。また、質の高いケアと人材育成と魅力ある職場作りでは、ケア向上をはかるため認知症関連研修実施や顧客への食事アンケートの実施、医療ケア体制にかかる嘱託医との相談などを行い、生産性向上にむけて勤怠管理システム導入やナースコール変更などを行った。さらに、地域福祉の実践では、地域福祉推進に向けた在宅関連会議を通して今年度より新たに開始した生活支援体制整備事業や法人後見事業の運用注視をはかり、非常用災害対策計画の作成などを行った。

また、新型コロナ感染拡大防止対策を講じるなか、8月から令和5年1月にかけて法人内入所系4施設（特養、ケアハウス、グループホーム2施設）にて利用者や職員への新型コロナウイルス感染クラスター事案があり、事業計画に定めていた顧客向けアンケートの実施や職員にむけた個別研修プログラムの検討、法人内施設を活用した地域住民交流の計画化がはかれなかった。さらに、新型コロナウイルス感染クラスター事案や職員人件費等の要因により、法人財政が逼迫し約2500万円の赤字収益となった。

次年度では、これらを推進しつつ、法人財政の支出削減と収入増加にむけて経営陣と職員が一丸となって取り組むことを中心に据えた上で、新型コロナ感染症5類移行後の社会情勢に合わせた事業推進をはかることを目指して総括に移る。

　まず、法人内入所系4施設及び短期入所生活事業における稼働率は後述の通りである。特養では、入所待機者数が減少傾向である一方で、中重度介護度をもつ利用者が看取り介護により退所となることが相次いだうえに、コロナ感染クラスター事案により入所調整が円滑にはかれず、平均稼働率が低下している。また、短期入所生活介護でもコロナ感染クラスター事案により平均稼働率が大幅に低下した。次年度では、特養での空床期間の短縮と円滑に入所調整をはかるための取り組みや入所待機者増加にむけた外部への渉外活動の促進が求められる。また、グループホームむつみあい、グループホームなごみ筒井では、慢性的な入所待機者不足により今年度末時点で1床ずつ空床が続いており、早急に入居待機者増加にむけた具体的取り組みをはかる必要がある。さらに、ケアハウスでは、稼働率自体は安定しているが、入居待機者不足により、今後も入居待機者増加にむけた具体的取り組みが求められる。

　次いで、在宅各事業においては、訪問介護事業が今年度末をもって事業廃止となったが、訪問入浴の実績件数が増加している。

さらに、住まいの生活支援事業においては、従来の居住支援に加えて、コロナ感染拡大の影響により、生活困窮者支援や子育て支援での相談が増加し、関係各所と連携した対応や関連する講演等を行った。

　総じて、令和4年度の法人スローガンを「感謝の言葉で　心明るく　たすけあい」と掲げて、職員個々が法人理念に基づく『主体的に他者を思いやり、互いに助け合う』精神をもって顧客や地域に対して誠意をもって尽くしてきた姿が、やすらぎ会への信頼と実績の証であることを認識しつつ、新型コロナウイルス感染症クラスター対応するなか、安定した法人経営を求められた１年であったいうことをもって、令和4年度事業の総括としたい。

**令和4年度　事業計画　推進項目の検証**

「安定した法人運営」における5点の推進項目

1. **経営基盤の安定**

法人中長期計画に基づく経営基盤の安定と組織力強化をはかり、顧客サービス向上や地域福祉推進を積極的に行うことになっていた。これに関して、法人中長期計画は5月理事会にて承認され、単年事業計画書にも反映されることになった。さらに、法人内事業所に対して、PDCAサイクルに基づく事業運営をしながら、特に特養についてWAM活用した経営診断を実施した。また、法人内入所系4施設（特養、ケアハウス、グループホーム2施設）にて新型コロナウイルス感染クラスター事案や人件費上昇があり、法人財政がマイナス収支となった。次年度では、収入増加と支出減少にむけた具体的施策を実施していきたい。

②　**財政と運営の適正管理**

　　介護報酬にかかる加算減算に適切に対応しながら年度計画作成と評価に伴う法人事業の適正化を継続し、施設運営にかかる助成金や補助金の見える化をはかることになっていた。これに関して、各事業年度計画書に活用可能と思われる助成金や補助金を明記し、それぞれの事業運営を行った。次年度では、法人財政マイナス収支に対して財政と運営の適正管理がはかれるよう事業管理者と財務担当者との事前協議による次年度予算作成を実施していきたい。

③　**顧客満足追及の促進**

　　法人内事業において顧客満足度の向上をはかるため、顧客に対するアンケート調査の完成と清潔な施設環境の維持を目指した環境整備項目の抽出を行うことになっていた。

　　これに関して、事業所内新型コロナウイルス感染クラスター事案対応等により顧客向けアンケート調査は実施できなかった。また、環境整備項目の抽出については各事業年度計画書に明記し、それぞれの事業所で管理と実施をした。次年度では、顧客に対するアンケート調査を実施していきたい。

④　**感染症や災害への対応強化**

　　新型コロナウイルス等感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できるよう業務継続にむけた計画の整備と法人内浸透を目指すことになっていた。これに関して、感染症と災害にかかる当法人での業務継続計画（ＢＣＰ）は作成したが研修等による法人内浸透までは実施できなかった。次年度では、これら計画の法人内事業浸透を目指していきたい。

⑤　**人材確保と定着への取り組みの推進**

　　中長期的に人材確保ができるよう関係機関との連携をはかったり、人材定着にむけて職員に対する満足度調査や人材育成計画の検討、法人理念に関する職員向け研修を実施したりすることになっていた。これに関して、人材確保にむけた関係機関との連携をはかりつつ、人材定着にむけて職員への満足度調査実施と検証、職員への法人理念研修を実施した。一方で、人材育成計画の検討ははかれなかったため、次年度では、職員満足度調査の検証結果を踏まえた取り組みの実施や人材育成計画の作成を目指していきたい。

「質の高いケアの提供、人材育成と魅力ある職場作り」における5点の推進項目

①　**質の高いケア提供にむけた取り組み**

　　専門職種又は事業単位での職場内研修についてPDCAサイクルを用いて計画的に実施することや認知症ケア向上にむけた方向性検討、食事に関する顧客向けアンケート実施をすることになっていた。これに関して、認知症ケア向上にむけた研修や食事に関する顧客向けアンケートは実施したが、職場内研修にかかる実施後の成果や感想についてのフィードバックが行えていなかった。次年度では、PDCAサイクルに基づく職場内研修の実施や顧客への食事アンケート実施結果に基づく具体的方法を実施していきたい。

②　**医療ケア体制の整備**

　　顧客に対して安定した医療ケアが提供できるよう、嘱託医を含めた かかりつけ医との医療ケア体制の相談や職員による吸痰吸引確保にむけた計画検討を行うことになっていた。これに関して、嘱託医を含めた かかりつけ医との医療ケア体制について、特に嘱託医2名への新型コロナ対応にかかる相談を実施した。また、職員による吸痰吸引確保については、現在20名の職員が吸痰吸引等行為を実施可であり、今後４名が実施できるよう関係機関に実技調整しているが、コロナ禍でもあり受け入れ可能な機関がない状況である。次年度では、新型コロナ5類移行後での医療ケア対応を含めて かかりつけ医との医療ケア体制を相談していきたい。

③　**接遇マナー向上の推進**

　　顧客に対して一定の支援が行えるよう接遇マナーマニュアルの作成や事業所毎の関連研修を実施することになっていた。これに関して、法人接遇マナーマニュアルを作成したものの事業所毎の関連研修は実施できなかった。次年度では、法人接遇マナーマニュアルに基づく事業所毎の関連研修を実施していきたい。

④　**生産性向上の促進**

　　業務上での職員の心身負担軽減や業務効率化と生産性向上をはかるための業務改善をはかることになっていた。これに関して、『抱えない介護』をはかるため顧客の移動介助時にスライディングボードや移乗リフトを積極的に活用したり、センサーコール設置や特養ナースコール変更を検討したりした。また、新たに導入した勤怠管理システムの導入効果やＳＮＳ等の情報発信手段を検討した。次年度では、『抱えない介護』にむけた業務推進をはかりつつ、職員メンタルヘルス向上やＳＮＳ等情報発信手段の検討をはかっていきたい。

⑤　**魅力ある職場づくりにむけた取組み**

　　職員個々が働きがいを感じながらイキイキと仕事ができる職場を目指して、階層別研修プログラム内容の検討や人事考課評価に基づく個別研修プラグラム内容の検討をはかることになっていた。これに関して、階層別研修プログラムの検討はしたが、新型コロナウイルス感染クラスター事案等により、個別研修プログラムの検討が出来なかった。次年度では、階層別研修の実施と個別研修プログラムを検討していきたい。

「地域福祉の推進」における5点の推進項目

①　**生活支援体制整備事業の推進**

　　　今年度より開始した当該事業を推進すべく生活支援コーディネーターとの連携をはかった。これに関して、東部地域包括支援センター管轄区域内での通いの場空白地域での体操やサロン導入支援を実施し、数名の生活支援サービスを提供することができた。

次年度では、生活支援の幅を拡げるため法人内職員による有償ボランティア活動を促進しつつ、通いの場の空白地域での出前教室等の開催を検討、実施していきたい。

②　**地域福祉ニーズの発見の推進**

　　新たに改変した在宅関連会議等を活用して、地域福祉ニーズの発見や地域資源開発にむけた検討をはかることになっていた。これに関して、東部地域包括支援センター圏域にてスマホを活用した介護予防アプリの体験会や認知症サポーター養成講座、地域ケア会議を実施した。また、特定地区を対象とした生活アンケートを実施した。

③　**法人内施設機能活用による地域住民交流の計画化**

　　新型コロナ等感染症拡大防止対策を講じながら、法人内施設機能を活用して地域住民との交流機会を検討することになっていた。これに関して、5月にニコニコ広場においてグランドゴルフ大会を実施したが、新型コロナウイルス感染クラスター事案等により、それ以外での実施はできなかった。次年度では、新型コロナ感染症5類移行後の対策をはかりつつ、地域住民交流の計画化と実施をはかっていきたい。

④　**地域内非常災害対策の整備**

　　施設内における非常災害対策計画を作成し、福祉避難所の運営内容や防災時提供可能な施設設備を明確にすることになっており、法人非常災害対策計画の作成や福祉避難所の運営内容ならびに防災時提供可能な施設設備の明確化をはかった。次年度では、法人内非常災害対策計画等を活用した避難訓練等を検討し、計画的に実施していきたい。

⑤　**法人後見事業の推進**

　　今年度より開始した当該事業について、具体的運用につながるよう関係機関への宣伝や広報活動をはかることになっていた。これに関して、天理市東部地域包括支援センターから1件相談があり、運営委員会を経て当法人が後見事業候補者となる申し立てを家裁に提出中である。次年度では、審判確定結果により具体的運用もしくは広報活動を実施していきたい。

1. **事業内容**

(１)　第１種社会福祉事業

　　(ア)　特別養護老人ホームやすらぎ園の経営

　　(イ)　軽費老人ホームケアハウスやすらぎの経営

(２)　第２種社会福祉事業

　　(ア)　老人短期入所事業（やすらぎ園）の経営

　　(イ)　老人居宅介護等事業の経営

　　(ウ)　老人介護支援センター　在宅介護支援センターやすらぎの経営

　　(エ)　グループホームむつみあいの経営

　　(オ) グループホームなごみ筒井の経営

(３)　公益事業

(ア)　訪問入浴介護事業の経営

(イ)　居宅介護支援事業の経営

(ウ)　地域支援事業（天理市東部地域包括支援センター・天理市生活支援体制整備事

業）の経営

(エ)　介護予防支援事業の経営

(オ)　住まいの生活支援事業の経営

　　(カ)　障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者福祉サービス事業の経営

(キ)　介護予防・日常生活支援総合事業の経営

(ク)　法人後見事業

**2．理事会・評議員会・監事監査等開催**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 月 | 会　　　議 | 内　　　　　　　　容 |
| 5/19 | 評議員選任・  解任委員会 | 評議員選任候補者の選任の決議 |
| 5/19 | 監事　監査  理　事　会 | 2021年度（令和3年度）計算書類（賃借対照表及び収支計画書）及び財産目録についての承認決議  2021年度（令和3年度）監事監査報告及び第一号議案承認の場合の社会福祉充実残額についての決議承認  2021年度（令和3年度）事業報告書案についての決議承認  社会福祉法人やすらぎ会中長期計画案についての決議承認  評議員選任候補者案についての決議承認  地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用したケアハウス大規模修繕についての決議承認  地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用したGHなごみ筒井における非常用自家発電設備設置についての決議承認  訪問介護事業の事業継続についての決議承認  定時評議員会開催についての決議承認  株式会社セイ（ダイショク）との契約単価見直しについての決議承認  特養ケアコール入替についての決議承認  理事長の職務執行状況についての報告  法人後見事業所進捗状況についての報告 |
| 6/11 | 定時評議員会 | 2021（令和3）年度計算書類（賃借対照表及び収支計算書）及び財産目録についての決議承認  2021（令和3）年度事業についての報告  2022（令和4）年5月19日実施の監事監査についての報告  第1号議案承認の場合の社会福祉充実残額についての報告  天理市生活支援体制整備事業及び法人後見事業の実施についての報告  訪問介護事業の事業廃止検討についての報告  法人内における新型コロナウイルスワクチン接種状況についての報告  法人中長期計画についての報告 |
| 7/25 | 書面理事会 | 特別養護老人ホームやすらぎ園2階普通浴槽ろ過装置入替についての決議承認 |
| 9/5 | 理　事　会 | 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用したGHなごみ筒井における非常用自家発電設備設置についての決議承認  地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用したケアハウス大規模修繕についての決議承認  訪問介護事業の事業継続についての決議承認  株式会社セイ（ダイショク）との契約単価見直しについての決議承認  特別養護老人ホームやすらぎ園ケアコール入替についての決議承認  関西電力との電力購買契約満了を踏まえた契約更新についての決議承認  特別養護老人ホームやすらぎ園機械浴入替についての決議承認  就業規則・給与規定の変更についての決議承認  理事長の職務執行状況についての報告  特別養護老人ホームやすらぎ園2階普通浴槽ろ過装置入替についての報告  創立記念式典案についての報告  令和4年4～8月収支推移についての報告 |
| 10/17 | 書面理事会 | 特別養護老人ホームやすらぎ園Wi-Fi増設工事についての決議承認 |
| 12/3 | 理　事　会 | 2022年度中間決算報告、第一次補正予算案と今後の対策等についての決議承認  特別養護老人ホームやすらぎ園ケアコール入替工事の指名競争入札についての決議承認  訪問介護事業の事業休止に伴う管理者の解任についての決議承認  理事長の職務執行状況についての報告  11月7、8日の県指導監査結果（法人・特養・ケアハウス）についての報告  特別養護老人ホームやすらぎ園Wi-Fi増設工事の「決議の省略」の結果についての報告  法人介護事業の事業休廃止についての報告  特養の9月19日からの新型コロナウイルス感染症陽性者発生・クラスター事案についての報告  災害・感染症を想定した事業継続（BCP）計画策定についての報告 |
| 2/9 | 理　事　会 | 評議員会の招集についての決議承認  災害・感染症を想定した事業継続（BCP）計画の策定についての決議承認  非常災害対策計画（防災・避難確保計画）の策定についての決議承認  理事長の職務執行状況についての報告  特養ケアコール入替工事にかかる指名競争入札結果についての報告  法人収支状況についての報告  奈良県指導監査法人部分「土地・建物の登記」進捗状況についての報告  やすらぎ会各施設における新型コロナウイルス感染症状況についての報告  特養、ケアハウスの建物建築資金借入金返済及び抵当権抹消手続きについての報告 |
| 2/25 | 臨時評議員会 | 「訪問介護事業廃止」に伴う定款変更についての決議承認  「理事長の職務執行状況」の定款変更についての決議承認  法人収支状況についての報告  住まいの生活支援事業のテレビ放映についての報告 |
| 3/17 | 理　事　会 | 2022年第2次補正予算案についての決議承認  2023年度事業計画案及び当初予算案についての決議承認  就業規則・給与規定の変更案についての決議承認  経理規定の変更案についての決議承認  寄付規定の変更案についての決議承認  理事長の職務執行状況についての報告  法人収支状況についての報告  奈良県指導監法人部分「土地・建物の登記」進捗状況についての報告 |

**3．事業別稼働率及び事業内容**

(1)第一種社会福祉事業

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 特養 | **令和4年度** | **令和3年度** | **令和2年度** | 摘要 |
| 退入所件数 | 退27件  入34件 | 退29件  入20件 | 退29件  入32件 | 件数減少  件数増加 |
| 延在園日数 | 33,210日 | 32,502日 | 34,206日 | 日数増加 |
| 延入院・外泊人数 | 62人 | 59人 | 68人 | 人数増加 |
| 延入院・外泊日数 | 592日 | 726日 | 849日 | 日数減少 |
| 平均稼働率 | 90.99% | 89.05％ | 93.7% | 率増加 |
| 平均要介護度 | 3.70 | 3.65 | 3.69 | 介護度増加 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ケアハウス | **令和4年度** | **令和3年度** | **令和2年度** | 摘要 |
| 退入居件数 | 退2件  入2件 | 退4件  入5件 | 2件 | 件数減少 |
| 延在居日数 | 3,650日 | 3,650日 | 3,650日 | 日数変化なし |
| 平均稼働率 | 100％ | 100％ | 100％ | 稼働率変化なし |

(2)第二種社会福祉事業

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 短期入所生活介護 | **令和4年度** | **令和3年度** | **令和2年度** | 摘要 |
| 延利用件数 | 560件 | 662件 | 483件 | 件数減少 |
| 延在園日数 | 2,877日 | 3,224日 | 2,936日 | 日数減少 |
| 平均稼働率 | 78.82% | 88.4% | 80.4% | 率減少 |
| 平均要介護度 | 3.38 | 2.8 | 2.9 | 介護度増加 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 居宅介護支援 | **令和4年度** | **令和3年度** | **令和2年度** | 摘要 |
| 実績延件数 | 938件 | 907件 | 851件 | 件数増加 |
| 介護支援専門員数 | 2.3人 | 2.2人 | 2.2人 | 人数増加 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| グループホーム　　むつみあい | **令和4年度** | **令和3年度** | **令和2年度** | 摘要 |
| 退入所件数 | 退2件  入2件 | 退4件  入3件 | 退4件  入5件 | 件数減少 |
| 延在所日数 | 6,377日 | 6,486日 | 6,458日 | 日数減少 |
| 平均稼働率 | 97.06% | 98.72% | 98.3% | 率減少 |
| 平均要介護度 | 2.65 | 2.5 | 2.7 | 介護度増加 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| グループホーム　　なごみ筒井 | **令和4年度** | **令和3年度** | **令和2年度** | 摘要 |
| 退入所件数 | 退2件  入2件 | 退1件  入1件 | 退1件  入2件 | 件数増加 |
| 延在所日数 | 2,609日 | 2,977日 | 3,006日 | 日数減少 |
| 平均稼働率 | 79.42% | 90.62% | 91.51% | 率減少 |
| 平均要介護度 | 3.17 | 3.00 | 2.63 | 介護度増加 |

(3)公益事業

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 訪問入浴介護事業 | **令和4年度** | **令和3年度** | **令和2年度** | 摘要 |
| 実績延件数 | 2,310件 | 2,203件 | 2,053件 | 件数増加 |
| 稼働職員常勤換算数 | 5.05人 | 4.67人 | 5.4人 | 職員増加 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 訪問介護事業 | **令和4年度** | **令和3年度** | **令和2年度** | 摘要 |
| 利用者延件数 | 857人 | 1,993人 | 1,501人 | 件数減少 |
| 稼働職員常勤換算数 | 2.5人 | 2.5人 | 2.5人 | ワーカー数変化なし |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 配食サービス | **令和4年度** | **令和3年度** | **令和2年度** | 摘要 |
| 実績食件数 | 540件 | 678件 | 568件 | 件数減少 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 天理市東部地域包括支援センター | **令和4年度** | **令和3年度** | **令和2年度** |
| 介護保険制度及び福祉サービスの総合相談・高齢者虐待・権利擁護・成年後見の  相談 | 〇総合支援  延べ2,308人  〇高齢者虐待相談・支援　3件  〇権利養護、成年後見 相談・支援  延べ98件 | 〇総合支援  　延べ2,683人  〇高齢者虐待相談・支援　4件  〇権利養護、成年後見 相談・支援  延べ94件 | ○総合相談支援  　延べ1,750人  ○高齢者虐待相談・支援　6件  ○権利擁護、成年後見 相談・支援  延べ109件 |
| 介護予防支援及び介護予防・日常生活支援総合事業等介護予防業務 | ○介護予防ケアマネジメント　年間プラン作成数　2,949件（自法人1,885人、委託1,064件）  ○C型サービス作成13件  ○高齢福祉サービスによる安否確認  20件  ○高齢福祉サービス相談  212件  ○認知症サポーター養成講座1回開催（二階堂地区）  ○介護予防普及啓発11件（地域医療や重度化防止、通いの場づくり等に関する教室開催） | ○介護予防ケアマネジメント　年間プラン作成数　1,876件（自法人740人、委託1,136件）  ○C型サービス作成5件  ○高齢福祉サービスによる安否確認  30件  ○介護予防普及啓発活動…天理医療大学にて認知症サポーター養成講座1回開催  ○介護予防普及啓発　9件（住民主体による予防活動の為、生活支援コーディネーターとの連携による「いきいき百歳体操」の体験会実施、住民同士の助け合い支えあい活動の啓発） | ○介護予防ケアマネジメント　年間プラン作成数　2,048件（自法人895人、委託1,153件）  ○C型サービス作成36件  ○『食』の自立支援事業（年１回の実態把握調査※次年度は自動更新）  ※高齢福祉サービスによる安否確認  15件  ○介護予防普及啓発活動…コロナ禍にて学校単位での認知症サポーター養成講座は中止。二階堂校区で1カ所認知症サポーター養成講座開催。  ○介護予防普及啓発　福住校区2カ所、井戸堂地区1カ所（住民主体による予防活動の為、生活支援コーディネーターとの連携による「いきいき百歳体操」の体験会実施 |
| 包括的・継続的ケアマネジメント | ○困難支援への助言・指導　年間278件  ○動機づけ支援『ロバの耳』相談2件実施 | ○困難支援への助言・指導 年間278件の困難事例支援を実施　　※今年度より動機づけ支援『ロバの耳』相談4件実施 | ○困難支援への助言・指導 年間74件の困難事例支援を実施。 |
| 一人暮らし高齢者等実態把握 | ○独居高齢者一覧に基づく実態把握　304件 | ○独居高齢者一覧に基づく実態把握  700件 | ○独居高齢者一覧に基づく実態把握　452件 |
| サロン等地域づくり | ○サロン開催　9件  ○地域リハビリテーション活動…生活支援コーディネーターと連携にて7か所実施  ○いきいき百歳体操…12か所、新規2か所立ち上げ  ○生活アンケート等にて地域課題の抽出を行い、生活支援サービス、ボランティアの立ち上げ等取り組み実施 | 〇食事含むサロンはコロナ禍の為中止。　〇地域リハビリテーション活動実施…通いの場6カ所に対して体力測定を実施（フレイル予防含む）  〇いきいき百歳体操…福住校区3カ所（福住2カ所、山田1カ所）、二階堂校区4カ所、井戸堂校区1カ所で実施。 | 食事含むサロンはコロナ禍の為中止。  いきいき百歳体操として福住校区1カ所、二階堂校区1カ所継続し新たに福住地区4か所（福住2カ所、山田2カ所）で実施。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 住まいの生活支援事業 | **令和4年度** | **令和3年度** | **令和2年度** |
| 転居等に関する総合相談 | 相談実人数：26人  成約人数　：7人 | 相談実人数：16人  成約人数　：5人 | 相談実人数：21人  成約人数　：12人 |
| 広報及び体制構築活動 | ○奈良県社会福祉協議会より、町村部における生活困窮者自立支援事業の住居確保等支援事業の一部を再委託  ○家賃債務保証業者との協定調整 | 奈良県社会福祉協議会より、町村部における生活困窮者自立支援事業の住居確保等支援事業の一部を再委託 | 奈良県居宅生活移行緊急支援事業の一部を県社協より再委託 |
| 外部発信 | ○全国居住支援法人協議会アドバイス事業講師  ○第2回奈良県居住支援サミット実行委員、パネリスト  ○令和4年度奈良市地域自立支援協議会 地域移行グループ学習会講師  ○「関西情報ネットten」取材、放映 | ・奈良県立大学、住宅セーフティネット研究ユニット 奈良県における新型コロナウイルス感染拡大と「住宅セーフネット」調査研究、検討会委員  ・令和3年度奈良市地域自立支援協議会　地域移行グループ学習会講師  ・令和3年度近畿ブロック居住支援セミナー（厚労省近畿厚生局）講師  ・高齢者住宅新聞　掲載（2月）  ・全国居住支援法人協議会アドバイス事業  ・全国居宅支援法人協議会アドバイス事業「障がい者・高齢者を対象としている居住支援法人団体の先駆的な取り組み」講師  ・奈良県居住支援ネットワーク「令和3年度居住支援サミット」発表  ・空き家コンシェルジュ「令和3年度住宅市場を活用した空き家対策モデル事業」検討会委員 | ・厚労省老健事業「地方自治体における居住支援の取組に関する調査研究事業」委員  ・空き家コンシェルジュ居住支援相談員研修講師  ・ひょうご住まいづくり協議会居住支援団体意見交換会講師 |

**4．年間実施行事**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(敬称略)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 法人内行事 | 定例行事 | ボランティア等主催行事 |
| 4 | 花見行事 | 月次祭  講社祭  特養フロアレクレーション  CH懇談会  GHなごみ筒井避難訓練（日中、夜間） |  |
| 5 | GHむつみあい開設記念式典 |  |
| 6 | GHむつみあい避難訓練・CH総合訓練・消防設備点検 |  |
| 7 | 特養、GHむつみあい夏祭り・職員健康診断 |  |
| 8 | CH、GHなごみ筒井夏祭り  GHむつみあい避難訓練・特養夜間避難通報訓練・ |  |
| 9 | 敬老関連行事 |  |
| 10 |  |  |
| 11 | 利用者採血・利用者、職員インフルエンザ予防接種・CH夜間総合訓練 |  |
| 12 | 創立47周年記念式典・特養、GHむつみあい、なごみ筒井クリスマス行事 | 天理市長寿会訪問 |
| 1 | 元旦祭・特養、CH、GHなごみ筒井正月関連行事 |  |
| 2 | 節分行事・CH夜間総合訓練 |  |
| 3 | ひな祭り行事・福住3施設合同避難通報訓練・福住3施設合同避難訓練（大規模災害想定） |  |

※GH（グループホーム）、CH（ケアハウス）

**5．令和4年度　職員採用・退職状況**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 採　用　者 | 退　職　者 |
| 特養介護員 | 7名 | 8名 |
| 特養管理栄養士 | 0名 | 1名 |
| GH介護員 | むつみあい8名　なごみ筒井5名 | むつみあい5名　なごみ筒井5名 |
| 合　　　　計 | 20名 | 19名 |

**6．実習受入状況**

|  |  |
| --- | --- |
| 実習機関及び実習名称 | 担　当　者 |
| 天理大学 | 辻本　健二（社会福祉士養成課程） |
| 近畿大学豊岡短期大学 | 樋口　雅史（社会福祉士養成課程） |
| 日本福祉大学 | 樋口　雅史（社会福祉士養成課程） |
| 天理医療大学　看護学科生 | 畝本　智美 |
| 天理教校　本科実践課程 | 白須　真人 |
| 奈良介護福祉中央学院 | 野村　佳菜 |

**7．会議実施状況**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 法　人 | 職員会 | 特に周知を必要とする情報及び責務等についての徹底を図るとともに、労務及び福利等に関して、全職員が  一同に会して議論共有する。 |
| 各職種責任者会議 | 職種の現況における課題に基づき、主担当者間にて情  報分析と課題の解決に向けた議論や提議を行うこと  を目的に年数回程度開催する。 |
| 三施設 | 特養関連会議 | 特養関連部署間で、部署間の連携を深め共通の課題・  目的等を共有し、相互関係が創出できることを目的に  開催する。 |
| 求食会 | 利用者様の「食」に関する課題解決のために、2～3ヶ月に1回程度、栄養士や調理員が中心となり、各職種間で意見交換を行う。 |
| 特　養 | 入所検討委員会 | 介護保険法に基づき、月1回程度、施設入所の選考に  係る事務を実施するとともに入所全般の業務を円滑に行うことを目的に開催する。 |
| 各階カンファレンス | 利用者様との契約として必須であるケアプラン策定のために、介護支援専門員主導のもと、関連職種が処遇  上の意見交換を行う。 |
| 看護室会議 | 特養看護職員が看護に関わる業務を円滑に行うために、月1回程度、全スタッフの情報交換と意思疎通を図る  ことを目的に開催する。 |
| 各介護員会 | サービスの質を高めるとともに業務行動としてのレベル向上を目的に、月1回程度、各フロア・ユニット介  護員が議論共有することを目的に開催する。 |
| グループホーム | 責任者会議 | 責任者・ユニットリーダーが入居待機者や行事全般及  び各種事業改善のために月１回程度情報共有と意見交換することを目的に開催する。 |
| グループホーム　　定例会議 | 事業全般に関わる業務を円滑に行うために、月1回程  度、全スタッフの情報交換と意思疎通を図ることを目  的に開催する。 |
| 運営推進会議 | 地域密着型サービス特性を活かし、入居者様・職員・  天理市介護福祉課・地元地域民生児童委員がグループ  ホームの運営について情報共有を図り、地域に開かれ  たグループホームとすることを目的に開催する。 |
| ケアハウス | ケアハウス会議 | ケアハウス事業全般に関わる業務を円滑に行うために、月1回程度、管理者及び全スタッフの情報交換と意思  疎通を図ることを目的に開催する。 |
| 在宅系 | 地域推進会議 | 在宅関連部署間で、各事業の独立性を活かしつつも、  事業の運営の成果や課題を共有することで、枠を超え  た連携を図ることを目的に開催する。 |
| 居宅関連会議 | 在宅に関連する職員が月1回程度会し、在宅事業におけるサービスの質の向上と危機管理の徹底を図ることを目的とする。 |
| 訪問介護 | ヘルパー会議 | 利用者様宅への直行業務を常とする訪問介護員が、月  1回程度訪問介護計画の策定及びモニタリングに向け  て開催する。 |
| 訪問入浴 | 訪問入浴会議 | 訪問入浴事業全般に関わる業務を円滑に行うために、  月1回程度、全スタッフの情報交換と意思疎通を図る  ことを目的に開催する。 |

**8．委員会等設置状況**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 各委員会 | | | |
| 事故対策委員会（身体拘束等適正化委員会、虐待防止委員会、リスクマネジメント委員会） | サービス向上委員会 | | 防災防犯委員会 |
| 行事委員会 | 求食委員会 | | 入所検討委員会 |
| 福利委員会 | 広報委員会 | | 安全衛生委員会 |
| キャリアパス委員会 | メンタルヘルス委員会 | |  |
| 各部門管理者 | | | |
| 法令遵守責任者 | | 辻本　健二 | |
| 防火管理者 | | 河合　智哉 | |
| 介護労働者雇用管理責任者 | | 米田　敦志 | |
| 衛生管理者 | | 佐野　滋 | |
| 安全運転管理者 | | 國光　貴司 | |
| 各担当者 | | | |
| 苦情受付担当者 | | 特養：菅野　光太郎　在宅：前川　真治  ＣＨ：吉田　昌美　　ＧＨ：森　　健一 | |
| 苦情解決責任者 | | 菊池　清行 | |
| パート労働者相談窓口 | | 杉浦　直子 | |
| ハラスメント相談窓口 | | 辻本　健二、野村　佳菜 | |
| 特定個人情報事務取扱責任者 | | 安田　直樹 | |
| 特定個人情報事務取扱者 | | 安田　直樹、東　栄都子 | |
| 雇用管理の改善等に関する事項に係る相談窓口 | | 安田　直樹 | |
| ストレスチェック実施者 | | カウンセリングストリート㈱ | |
| ストレスチェック事務従事者 | | 佐野　滋、安田　直樹、東　栄都子 | |
| GHむつみあい計画作成担当者 | | 森　健一、榎田　智広 | |
| GHなごみ筒井計画作成担当者 | | 中村　太 | |
| 法人人事担当者 | | 辻本　健二 | |
| 法人労務担当者 | | 安田　直樹 | |
| 法令遵守担当者 | | 安田　直樹 | |
| ＰＣネットワーク管理者 | | 佐野　滋 | |
| 出張所総務担当 | | 前川　真治 | |
| グループホーム相談役 | | 辻本　健二 | |

＊　事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない